

# シネマズライフ

2020年3月6日発行 第178号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

だかき りおん  
貴樹 諒音

【最近のこれはお見事!】

『透明花火』 謎めいた題名で興味津々。

【最近のこれはまずいぞ!】

『死霊魂』 ホラーかと思ったたらかなり硬派のドキュメンタリーらしい。まきらわしい...

## 映画の風景 日本の風景

※ 大阪市立科学館 ※



↑ 大阪市立科学館

『アンドロメダ...』という映画があった。こんな映画だ。アメリカの小さな村ヒートモント。この村にアメリカ軍の軍人達が重武装で訪れる。彼らの目的はこの村に落下した人工衛星の回収だったが、訪れてみると村の人々が倒れており、すべて死体となっていた。人工衛星を探すと村の医師の家に運び込まれており、衛星の蓋が開けられていた。この行為が村の悲劇の原因のようだ。死体の血液はすべて顆粒状になっており謎が深まる。

ところが調査中、軍人達を錯乱した老人が襲う。酒好きだった老人は気が付くと住民達が全員死んでしまった。村には赤ちゃくんと二人だけ生き残りはこくも二人だけ生き残りはいり、政府は調査チームを作集計した。以前から準備された「計画」を奨励。専門家を生物学の調査を開始する。専門家達、生物学などの専門家を

原因は人工衛星に入り込んだ微生物のようなものではないが、正体はなかなかわからない。やがてこの微生物の特殊な生態が発覚し...

また謎多き『新型コロナウィルス』。この事態に一番に思い出したのがこの映画だ。体を異常なほど殺菌をされるシーンは地球で一番細菌だらけなのは人間かとも思ったりもした。

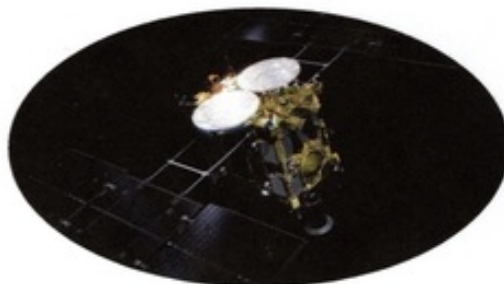
大阪市立科学館では、子供達がよく訪れるという。訪れた事がきっかけで科学に興味を持ち「ウィルス」などの正体がすぐわかる偉大な科学者に育つてほしいものだ。

『アンドロメダ...』1971年 アメリカ 監督製作：ロバート・ワイズ 脚本：ネルソン・ギディング 原作：マイケル・クライトン 主演：アーサー・ヒル デヴィッド・ウェイン ジェームズ・オルソン ケイト・リード ボーラ・クリー

今【新型コロナウィルス】で世界中が猛威をふるっているが、幸いな事に【アンドロメダ】ほど致死率も高くなくひどい病状でない場合、家で養生していた方がいいそうだが...

コラム

### 日本の技術だから 大丈夫よねと思う件



↑ 小惑星探査機「はやぶさ2」

まだまだ、『新型コロナウィルス』の勢いは止まらないようだ。むしろ、今では中国だけではなく、世界中を席巻しており、暖かくなれば自然消滅する...などと噂が立っていたが、暖かい場所でも感染者が出てくるようでは、一体なにが正しいのやら。

最近では、普通の風邪ではないような症状でもひどくなる人は少ないので「普通の風邪」のように手洗いしてうがい、それで寝ていけばよいなどとも言われており、このままでは日本は、罹患しているも気づかない人が大量にいる可能性は高い。いわゆる「専門家」の方々のお話でもこれはこれで怖い。

さて、2年前には10年前に帰還し日本中を熱狂させた「小惑星探査機はやぶさ」の後継機「小惑星探査機はやぶさ2」が無事目的の小惑星「リュウグウ」に到着しプロジェクトを開始。今年末、地球に帰還しカプセルをオーストラリアに投下するという。前回の「はやぶさ」の経験もあり、『アンドロメダ...』のような事はないと思うが...

宇宙は広いし、何があるかわからない。「はやぶさ2」は変な物は持ってきてない事を祈ります。



↑ 小惑星探査機「はやぶさ2」の打ち上げ

ウィキペディアを参考にさせていただきました。



on air!

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します!

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合も  
ありますので確認をお願いします。(c.c.)

『インナースペース』

ザ・シネマ  
1987年 アメリカ  
監督:ジョー・ダンテ  
製作:スティーヴン・スピルバーグ ビーター・グーバー  
ジョン・ビーターズ フランク・マーシャル  
音楽:ジェリー・ゴルドスミス  
出演:デニス・クエイド マーティン・ショート メグ・ライアン

3月8日(日)24:45 ⇒ 3月9日(月)0:45  
3月20日(金)8:00 3月26日(木)8:00  
4月26日(日)25:30 ⇒ 4月27日(月)1:30

サンフランシスコ、ベクター・ラボ研究所で  
世紀の実験が行われようとしていた。実験用潜  
水艇をマイクロ化しようとするのは、アメリカ空  
軍のパイロット、タック。科学者ウェクスラー  
博士の手で今まさに!マイクロ化して注射でうさ  
ぎの体内に入れようとしていた時、研究所に研  
究を横取りしようとする侵入者が入り込み、実  
験を阻止。驚いたウェクスラー博士は逃げ出す  
が一味の一人に撃たれてしまい近くのモールに  
いたジャックに注射してしまう。

ジャックの体内に入ったタックはびっくり!  
24時間以内に体内からでない潜水艇の酸素が  
無くなってしまふのだ...  
1966年製作された『ミクロの決死圏』がベ  
ース。『ミクロの...』はラクエル・ウェルチのウェ  
ットスーツが呼び物だったが、こちらはコメディ  
映画です。

『いま、会いにゆきます』

WOWOW  
2004年 日本  
監督:土井裕泰 脚本:岡田嘉和  
出演:竹内結子 中村獅童 武井証 浅利陽介 平岡祐太  
大塚ちひろ 中村嘉津雄 市川実日子 YOU 松尾スズキ 小日向文世

3月8日(日)16:40 [シネマ]  
3月31日(火)19:10 [プライム]

ある年の梅雨の季節。1年前、妻・澄を亡く  
した巧と母を亡くした佑司は、ひっそりと暮ら  
していた。実は、亡くなる前に澄は2人に、「1  
年たったら、雨の季節に又戻ってくるから...」  
という言葉を残しており、少しは期待したりも  
するが信じられる訳もなかった。

ところがある日。思い出の場所に行ってみる  
と二人の前に死んだはずの澄が現れる。しかし、  
澄は記憶を無くしており、2人の事は覚えてい  
ない様子だ。  
とりあえず、家に連れて帰り一緒に暮らし始  
めるが、やがて意外な事実がわかり...  
(《シネマズライフ27号》より転載)

描き方によると、混乱するがよく整理された  
タイムリープ映画の傑作。

おどろ  
大道のラブストーリーで、雨・美しい森の自然  
は限りなく美しい。

★読んで頂いてありがたうございました。よろしかったら感想、お叱りお聞かせください。よろしくお祈りします!(c.c.) 貴樹諒音

『ちはやぶる - 結び -』

2018年 日本  
監督 脚本:小原保宏  
原作:末次由紀

出演:広瀬すず 野村周平 新田真裕也  
上白石萌音 矢本悠馬 清原果耶 船岡茉美  
真栄田朝人 船田由由紀 藤村摩



↑「三十六歌仙」  
高宮千鶴 竹内宮島高綱王

予備校で「かるた  
という頃、太一は  
予備校で《かるた

2年前、瑞沢高  
校に進学し「かる  
た部」を真島太一  
と一緒に創設した  
綾瀬千早あやせ  
ちはやぶるも、もう3  
年生。去年は一人  
も部員獲得できな  
かったので、今年の  
かるた部の部員募  
集には冷静を保つ  
も入部希望を保つ  
との試合で我を忘  
れ、結局、筑波と  
真島太一狙いの董  
が入部する。  
ところが、太一は  
部活動と大学受験  
の両立に苦しんで  
おり、東京都予選  
大会には出場しな  
かった。  
一方、太一と千  
早の幼なじみの新  
が藤岡東高校で  
「かるた部」を作り  
千早達に挑戦する  
という。

予備校で《かるた  
という頃、太一は  
予備校で《かるた  
という頃、太一は  
予備校で《かるた  
という頃、太一は  
予備校で《かるた  
という頃、太一は

名人戦を4連覇し、  
予備校講師をしている  
周防の授業を受ける。  
孤高の人の周防に興味  
を持つていた太一は彼  
と親しくなり、《かる  
た》の教えを乞う事に  
するが...  
太一が部に来なくな  
り、寂しい思いをする  
千早と《かるたクイ  
ン》になる事が夢の千  
早、振り向いてくれな  
い太一に恋する董と得  
意のかかるた歌で慰める  
奏(カナちゃん)。  
昔、テレビドラマで高  
校生達と教師が主人  
公の青春ドラマが放映  
されていたが、今はそ  
の頃のようなストレ  
ートな青春ドラマはな  
かった。  
舞台と時代は違えど  
も、《青春》を生きた高  
校生の悩みは変わら  
ない。素直に生きる千  
早達の青春は瑞々しく  
まぶしい。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie

シネマズライフ178号

※ 発行人: 貴樹諒音 ※  
発行日: 2020年3月6日  
cinemaz-life@movie.nifty.jp  
※ 告知ブログ ※  
<http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/>

皆様お気を  
つけてください。  
かしこ  
(c.c.)

★次回発行は3月20日です。3月発行予定は第1・3金曜日です。(c.c.)

シネマズライフ—cinemaz-life— 178号

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

著者：貴樹 諒音

メールアドレス [cinemaz-life@movie.nifty.jp](mailto:cinemaz-life@movie.nifty.jp)

著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』

<http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html>

【写真素材・フォトライブラリー】

の画像を使わせてもらっています。

《ザ・シネマ》

『インナースペース』

《WOWOW》

『いま、会いにゆきます』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。

ぜひ、ご覧くださいませ。

**Yahoo!映画**

**rion\_takagiのMyムービー**

<https://movies.yahoo.co.jp/my/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A--/>

お世話になっているインターネットTV

**[netchannel KYO](#)**

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸いです。

[cinemaz-life@movie.nifty.jp](mailto:cinemaz-life@movie.nifty.jp)

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：デザインエッグ株式会社